

## 小中学校のあり方検討会議の概要

**目的：**須坂市において、少子化に向かうこれからの小学校、中学校における学びの環境について、市として取り組むべき教育施策を導き出すことを目的とする。

**会議：**教育長が招集する。2か月に1回程度の頻度で年5回開催。

**委員：**有識者・学識経験者、PTA役員経験者、幼児教育・保育経験者  
高等学校関係者、中学校関係者、小学校関係者

**事務局：**学校教育課に置く。  
学校教育課の担当指導主事と担当係長は事務局として会議に出席する。

**検討内容：**◆義務教育内容の変化と将来予想  
◆須坂市の教育現場の状況  
◆児童数の推移から見えてくる将来の教育環境  
◆学校教育施設の設置年数から見えてくる維持コスト 等



須坂市の学びの在り方、どんな学びをしていくか、何を大切にしていくか、といった理念や未来像を含めて提言にまとめる

**検討後：**検討会議から、市として取り組むべき教育施策の提言を受ける。  
この提言を足掛かりとして具体的な取り組みを始める。  
検討の過程で、学校の統廃合についても議論することになると考えているが、この検討会議で結論を出す予定はない。  
学校統廃合や、小規模校の廃止・存続については、さらに市民委員を加えた審議会を設置して、様々な意見を聴きながら慎重に検討する。